



中央図書館だより

Hon do?

NO.89
(令和3年9月10日発行)

特集コーナー紹介



特集コーナー（7番棚）
◆敬老の日
おじいちゃん&おばあちゃん



児童特集コーナー（1A棚）
◆おつきみえほん
◆秋のえほん



一般特集コーナー（特設4）
◆戦争と天草

コラボ特集コーナー紹介



一般特集コーナー（特設2）
◆循環器疾患予防



一般特集コーナー（特設5）
◆障害者雇用支援月間

その他 ◆世界アルツハイマー月間（特設）
◆第6回天草まちゼミ（特設3）

読み聞かせボランティア選書講座にご参加ありがとうございました

先日開催した講座では、参加者のおすすめ絵本を紹介しました。読み聞かせ経験者のおすすめ本は、互いに参考になったのではないのでしょうか。読み聞かせの実演や、お話の前や間にできる手遊びなども学び、これからの読み聞かせ活動に活かしていただければ幸いです。

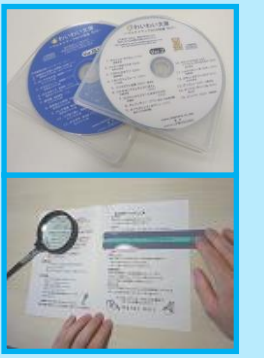


▶ おすすめ本の紹介
◀ 手遊びの実演



読書補助用具

- リーディングトラッカー（読みたい行を強調して読める用具）
 - 手持ち拡大鏡（ルーペ）、老眼鏡
- ※利用についてはカウンターでお尋ねください



バリアフリーサービスのご案内

図書館では障がいや病気、高齢などの理由で、通常の活字による読書が困難な方へのサービスとしてバリアフリー資料の提供や、読書補助用具の館内での貸出を行っています。どなたでもご利用できます。

バリアフリー資料

- 大活字本（大きな文字で書かれた本）
- 点字絵本（点訳つきで触って読んでいきます）
- LLブック（やさしく読める本）



『わたしのかぞく』（樹村防）
『ぼくと目の見えない内田さんがであったはなし』（埼玉福祉会出版部）



- マルチメディアデジター図書（パソコンで再生できるデジタル図書）
（※中央・牛深・河浦図書館で利用できます）

新着本紹介

新刊の一部をご紹介します

一般書



『明日は結婚式』 小路幸也 (祥伝社)



『ロータス コンフィデンシャル』 今野敏 (文藝春秋)



『老いの道楽』 曾野綾子 (河出書房新社)

『invert』（城塚翡翠倒叙集）相沢沙呼（講談社）
『もどかしいほど静かなオルゴール店』滝羽麻子（幻冬舎）
『アガワ流生きるピント』阿川佐和子（文藝春秋）
『カラダに効く！タンパク質まるわかりBOOK』 藤田聡/監修（学研プラス）
『熊本橋紀行』崎元達郎・福島通安/共著（熊本日日新聞社）

児童書・絵本



『子どもの本で平和をつくる』 キャシー・スティンソン (小学館)



『ぱったんして』 松田奈那子 (KADOKAWA)



『どっちでもいい子』 かさいまり (岩崎書店)

『お化けの猛暑日』川端誠（BL出版）
『水族館』（いきものとひとのいちにち） ほりかわあやこ（福音館書店）
『街どろぼう』junaida（福音館書店）
『キッチン実験室』（食べ物「なぜ」を探ろう!）（オレンジページ）
『友だちは図書館のゆうれい』草野あきこ（金の星社）

中央図書館カレンダー

9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- は休館日
- ◇しあわせおはなし会 10:30~
- おはなし会 14:00~
- 古文書学習会 14:00~
- △みずのわ読書会 10:00~

問合せ先 天草市立中央図書館
TEL: (0969) 23-7001

※市内の感染状況により、おはなし会などのイベントは中止になる場合があります
【開館時間】 火~金曜9時~19時 土・日、祝日9時~17時

図書館利用にあたってのお願い

新型コロナウイルス感染症感染予防のため、ご協力をお願いいたします

- ・入館の際のアルコール消毒
- ・入館の際の検温
- ・マスクの着用
- ・こまめな手洗い
- ・マイバッグの持参
- ・短時間の利用にご協力ください



今年の夏もコロナは収束せず感染は拡大するばかりです。

外出も抑制され、静かな原爆・終戦記念日を迎えると思っておりましたが、大雨による警報が出され、天草でも記録的な雨量を観測「これまでに経験したことがない」「命を守る行動をしてください」というテレビからの呼びかけが毎日のように流れました。図書館も大雨による避難所開設により休館、その後、熊本県の「まん延防止等重点措置」により、引き続き臨時休館となりました。今年は皆様に安心してご利用いただけると期待していただけに、残念な夏となりました。亡くなった父が孫の顔を見ながら「こん子たちの将来がどがんってか心配になる」と言っていたのをふと思い出しました。



このようななか、76回目の終戦記念日を迎えました。私の両親は当時学生だったため地元で終戦を迎えましたが、義母は長崎の原爆投下直後、当時日赤の看護師として現地で救護にあたったそうです。そのことを聞いたのは結婚して数年後の8月9日だったと思います。今年、長崎の平和祈念式典では16歳で看護学生として救護活動をされた92歳の岡信子さんが平和への誓いを述べられました。その中で活動体験のお話は、まさに私が義母から聞いたものでした。夫はその話を聞いたことがなく、義父のシベリア抑留の体験も聞いたことがなかったと言っていました。両親が私にポツリポツリと話してくれたのは、家族には話せない、でも誰かに伝えたいという思いがあったからではないでしょうか。8年前から継承活動を始められた岡さんも、つらい体験は簡単には口でできないものとおっしゃっていました。

今年1月に亡くなられた半藤一利さんは、亡くなる前夜に奥様の茉莉子さんへ「墨子をよみなさい。2500年前の中国の思想家だけどあの時代に戦争をしてはいけないと言っているんだよ。偉いだらう」と、最後の言葉を残されたそうです。

「天災と違って戦争は人間の叡智で防げるものです。戦争は悪である。恐ろしい体験をする者も、目撃する者も決して生み出してはいけないそれが戦争体験者の願いである」と、茉莉子さんは半藤さんの遺作『戦争というもの』の最後に書いておられました。「人間の眼は歴史を学ぶことではじめて開くものである」との半藤さんの言葉に、戦争を知らない私たちも戦争の事実や歴史を学ぶことで次の世代に継承していけるのではないかと思います。

図書館では戦争体験者の手記などを集めた【戦争と天草】のコーナーを設置しています。9月1日から開館していますので是非ご覧いただきたいと思います。
【文・中央図書館長】